

金融と地域連携 テーマにシンポ

四国財務局

四国財務局は12日、「金融仲介の質の向上に向けたシンポジウム」を高松市番町の県社会福祉総合センターで開いた。中小企業や地方銀行の代表者らが意見交換し、金融機関と地域の連携の在り方を探った。

中小企業支援のNPO法人日本動産鑑定(東京)の森俊彦会長は「金融機関は中小企業に伴走することが必要。事業を理解し、付加価値を高めることに全力投球すべき」と提言した。

県中小企業家同友会の川北哲代表理事は、会員企業の声として「経営課題や将来ビジョンを金融機関の担当者に十分説明できておらず、コミュニケーションを取ることが課題」と指摘。四国銀行の山元文明頭取は「支援を受けるのが不名誉と考える経営者もいるが、何でも言える関係を粘り強くつくりたい」と述べた。